

★ 都内草の根助成 書類選考通過団体（投票用紙に番号又は団体名を記入）

私たちの生活圏であり、身近な地域である東京都内の市民活動を応援する助成です。

団体番号	助成申請団体・申請事業の概要等			
都1	団体名	Neoclassical Collective	申請額(万円)	50
	事業名と事業概要	<p>●事業名：ヒビキアウ～地ベタリアンスタイルで聴くコンサート～</p> <p>演奏家と参加者が同じフロアで過ごすことができ、音の振動を直に感じるができる会場で開催します。地ベタリアンスタイルでフロアに寝そべて聴くもよし、ヨガマット持参でストレッチしながら聴くもよし、椅子席でスマホを見ながら聴くもよし、音楽に合わせて身体を動かしながら聴くもよしの、自由な公演とします。未就学児可、出入り自由な場として自分のペースに合わせて楽しめるよう、開催手法を工夫することで、障害児者やワンオペ育児に奮闘している親子、クラシックやオーケストラに興味はあるけれどコンサートホールに行かずと座って聴くことは難しいと躊躇してしまう方等も参加できる公演にしたいと考えています。</p>		
都2	団体名	一般社団法人 Colabo	申請額(万円)	50
	事業名と事業概要	<p>●事業名：買春禁止法ネットワークの立ち上げとシンポジウム開催</p> <p>日本社会では、虐待や生活困窮などを背景に街に出た少女や女性たちが性売買に追い込まれている。公的機関でも虐待や性搾取について被害ではなく本人の問題として扱われることが多くケアがなされず、専門的支援が欠落している。そのような中で Colabo は虐待や性暴力被害に遭うなどした 10 代女性や若年女性を支える活動を行いながら、現状を変えるための当事者運動として少女たちと共に声をあげ、国際社会と連帯し、JK ビジネスの実態の告発や、若年女性支援や女性新法など法整備の必要性を訴え、市民の認識や制度を変える力となってきた。売春防止法でも女性が社会を乱すものとして位置付けられ指導矯正の対象となってきたが、2022 年に成立した女性支援法では女性の人権や福祉の増進をはかることに女性支援の目的が変えられた。これまで、団体内のスタッフや当事者同士での日韓交流や勉強会を重ねてきたが、団体外の人たちと共に学ぶ機会をつくり全国で関心のある人たちと共有し、日韓の現状や実践から共にこの状況を変えていくための繋がりを作り、これをきっかけにシンポジウム後も勉強会や交流を続けていきたい。</p>		
都3	団体名	特定非営利活動法人えどがわ悠人会	申請額(万円)	50
	事業名と事業概要	<p>●事業名：音楽プログラム・「青首あひる」「チョンボリ」「夕食処」</p> <p>音楽プログラムは“障がいを持ちながら地域で暮らしている者同士、また地域で暮らしている方々と顔見知りとなり、障がいを理解し、関わり合いを持てる場所となること”を目的として活動しており、プログラムを通して、福祉業界に留まらない様々な交流が生まれたり、当事者である参加者が歌うための歌詞の準備も行う等、それぞれが進んで役割を発揮し生きがいややり甲斐を見い出せる場を提供してきました。「青首あひる」の頻度は月に 3 回、約 2 時間。参加者は 1 回あたり6～8名程度であり、法人内外の事業所に登録している当事者及び支援者、地域に住んでいる方も参加できる自由な場所です。楽曲は現在 300 曲あり、参加者からリクエストをもらい、集まった楽曲をスタッフが伴走し模造紙に書かれた歌詞を見ながら歌うというスタイルで行っています。その場では、歌っても、歌わなくても、踊っても、まったりしていても、聴いているだけでも構わない自由な場を作り、その気持ちを全員で共有すること、プログラムを通して「青首あひる」に行けばあの人がいる・参加者と話ができる、否定されない・排除されない場所となるなど、日常生活の一部となるプログラムになっています。又、夕方の居場所が欲しいとのメンバーの方の希望を受け、新たに月 1 回チョンボリと夕食処を開始し活動の目的や趣旨もメンバーの方と共に模索しています。</p>		

団体番号	助成申請団体・申請事業の概要等			
都4	団体名	あじさいの集い富士見	申請額(万円)	50
	事業名と事業概要	<p>●事業名：心身に障害を持ち、課題を抱えた人たちへの支援活動</p> <p>こども食堂利用者の中にヤングケアラーが数人いることがわかったため、2024 年度からヤングケアラー支援を事業として立ち上げた。ヤングケアラーは自ら手をあげないため見出すのが困難であるが、関係機関と連携して支援を受ける子どもを集める。①経済的困窮や不登校などにより社会的孤立状態にある子どもの家庭を訪問し異常の早期発見に努める。②、③子ども食堂、フードパントリーは継続して行う。食支援と安心して学べる居場所を提供し学習支援をする。④ヤングケアラーの人数を増やすために学校を訪問し寸劇などを実施し子ども達の理解を深める。ヤングケアラーの人数が増えたときにはピアサポートを実施する。</p>		
都5	団体名	NPO 法人維新隊ユネスコクラブ	申請額(万円)	50
	事業名と事業概要	<p>●事業名：ステップアップ塾・STUDY CAMP 新江古田教室の開催</p> <p>(趣旨) 経済的・家庭的・社会的貧困状態に陥り、学校外での教育や学習の機会が十分に得られない児童生徒の学力向上のため、無料または低価格で参加できる塾と無料自習室を開催し、いわゆる教育格差是正の一助となる活動に取り組む。</p> <p>(概要) 平日夜に開催されている無料自習室「STUDY CAMP」と毎週土曜日に開催される無料塾「ステップアップ塾」を、東京都中野区にある教室で開催する。「STUDY CAMP」は小 4～高 3 (大学浪人生含む) を対象とした自習がメインの教室で、室内にある教材やコピー機、Wifi を自由に使える他、飲み物やお菓子・軽食も自由に飲食できる場所としている。「ステップアップ塾」では、小 4～中 3 の児童生徒に対し、高校生以上のボランティア講師が専用の教材を用いて学習指導を行う他、授業後に晩御飯の時間を設けている。また毎回の授業前にワークショップの時間を設け、勉強以外にボランティア講師と参加者が交流を深める時間を設け、心身の健康増進と学力の向上を図る居場所として開催する。</p>		
都6	団体名	特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話	申請額(万円)	47
	事業名と事業概要	<p>●事業名：電話相談員スーパービジョン研修(相談員必須研修)</p> <p>電話相談員は全員、訓練をうけたボランティアです。年代や相談内容もさまざまな中で、利用者に寄り添い質の高い相談活動をすすめるためには、相談員養成研修に加え、認定後の継続的な研修が不可欠です。</p> <p>多摩いのちの電話では、質の維持のために相談曜日ごとのグループによる継続的な研修をはじめ、さまざまな研修活動を行っています。今回助成をお願いする「電話相談スーパービジョン研修」は、毎年実施する全相談員に義務付けられた研修として重視しているものです。これは実際に相談電話を受けながら行う個人スーパービジョンを中核に、講師(スーパーバイザー)を囲んだグループ全員による事前および事後研修からなります。</p> <p>一方で、団体の資金面では厳しい状況が続いています。相談活動だけでなく、広報や団体の運営を相談員をはじめとしたボランティアが担っています。団体としてはできる限りの運営面での経費削減や改善策をとっていますが、相談活動の根幹となる研修を削減することは何としても避けたいと考えています。そこで、認定後の継続的な研修の重要な柱である、この「スーパービジョン研修」の研修費用の助成を望む次第です。</p>		
都7	団体名	すぎなみPW+	申請額(万円)	15
	事業名と事業概要	<p>●事業名：善福寺公園探検隊</p> <p>(趣旨) 身近な都会の公園を舞台に、生き物のつながりや環境とのかかわりと、それに対して人間がどのようにかかわっていくのかを学んで、実際に行動をとれる人材育成に繋げる。</p> <p>(概要) 毎月第二日曜に都立善福寺公園にて 2019 年より実施。毎回 10～20 家族が参加し、実際に生き物と触れ合いながら、環境について学んでいます。毎月開催と 7 月、8 月はセミの羽化観察会を 1 回ずつ別途実施で年間計 14 回開催予定。</p>		